

ルールと進め方(予選)

1 予選について

- ①低学年(1年生～3年生)と高学年(4年生～6年生)に分かれて行います。
- ②プログラムに、選手番号・予選のグループ番号・予選の開始時間・会場番号が書かれています。開始時間には多目的ホール前に集合をお願いします。
- ③予選は散らしどり(バラどり)形式で行い、各グループの上位 2 名が午後からの本戦(源平方式のトーナメント戦)に進出となります。
- ④予選は札の配置・暗記で 5 分、試合 30 分、結果記録・札回収で 5 分の計 40 分で行います。(札は百首全て使用。試合開始後 30 分が経過したらその時点で終了。)
- ⑤読手は一定のペースで歌を詠み進めます。次の歌が詠み始められたら、前の札は取れません。
- ⑥詠まれた札と違う札に触った場合はお手つきとなり、ペナルティとして次の詠み札は取れません。(正しい札と違う札を同時に触った場合はOKとします。)
- ⑦同時に札を取った場合は審判が判断します。
- ⑧25 枚の札を取った時点で勝ち抜けとします。取った札が 25 枚未満の場合は、取った札の枚数で順位を決めます。枚数が同じとなった場合は、同じ枚数の人同士でじゃんけんをして順位を決めます。
- ⑨試合終了後、係員が結果を記録し、次のグループとの交代を指示します。

2 札の詠み方

- ①最初に序歌が詠まれます。
「難波津に咲くやこの花冬ごもり 今を春べと咲くやこの花」
- ②序歌に続いて 1 首目の上の句が詠まれます。
- ③上の句のあとに少し間をあけて下の句が詠まれます。
(状況によって、もう一度下の句を詠むことがあります。)
- ④予選では前の札が取られていなくても、一定のペースで次の歌を詠み始めます。
- ⑤それぞれの歌の上の句が詠み始められるまでは、手を畳の上に置いてください。

3 その他

- ①開始時間に会場に来られない場合でも予定どおり進行します。その場合、途中からでも参加は可能です。
- ②試合中やむを得ない理由で席を離れる場合は係員にお伝えください。但し、その場合でも試合は中断しません。
- ③試合を見学される場合、子どもたちが集中して対戦できるように私語や応援などの音を出す行為はご遠慮ください。会場外に出られる場合や、会場内で移動される場合は、詠み札が詠まれていない間にお願いします。
- ④試合中の写真撮影や動画撮影の際には、シャッター音やフラッシュが出ないようにお願いします。また、ご自身やお子様以外の方が映っている写真や動画をSNSに投稿されないようお願いします。
- ⑤事業の記録用に市職員が写真撮影を行いますので、ご了承ください。